

資料 1

平成20年度2月補正予算案の概要

～2月補正予算の規模等の内容をまとめた資料です～

平成 21 年 2 月 16 日

福島県土木部

平成20年度土木部2月補正予算案の概要

平成20年度土木部2月補正予算額 9億9,110万1千円

- ・国の2次補正等による予算額 : 21億2,460万1千円
- ・県の緊急経済対策による予算額 : 12億円
- ・その他予算額の確定による額 : △23億3,350万円
(主として災害復旧費の減によるものです)

○ 13ヶ月予算の考え方

平成21年度当初予算に、2月補正による国の2次補正等や県の緊急経済対策分の「約33億円」を含めて13ヶ月の予算として考えると、以下のような予算規模となります。

公共事業費合計	887億7,375万7千円	(対前年度当初予算比	1億9,782万7千円	100.2%)
内訳				
・一般公共事業費	459億 79万3千円	(対前年度当初予算比	△ 8億7,736万6千円	98.1%)
・県単公共事業費	324億2,266万9千円	(対前年度当初予算比	10億7,523万5千円	103.4%)
・維持補修費	104億5,029万5千円	(対前年度当初予算比	△ 4万2千円	100.0%)
一般会計当初予算合計	1,125億9,526万5千円	(対前年度当初予算比	3億4,934万8千円	100.3%)

※1 13ヶ月予算として公共事業費を見てみると、平成20年度当初予算と比較して、0.2%増加となります。

※2 13ヶ月予算として一般会計当初予算額を見てみると、平成20年度当初予算と比較して、0.3%増加となります。

○ 早期発注対策 : 70億6,410万1千円

国の2次補正等による予算や県の緊急経済対策については、県民に対する安全・安心を早期に確保するため、早期発注対策を実施します。

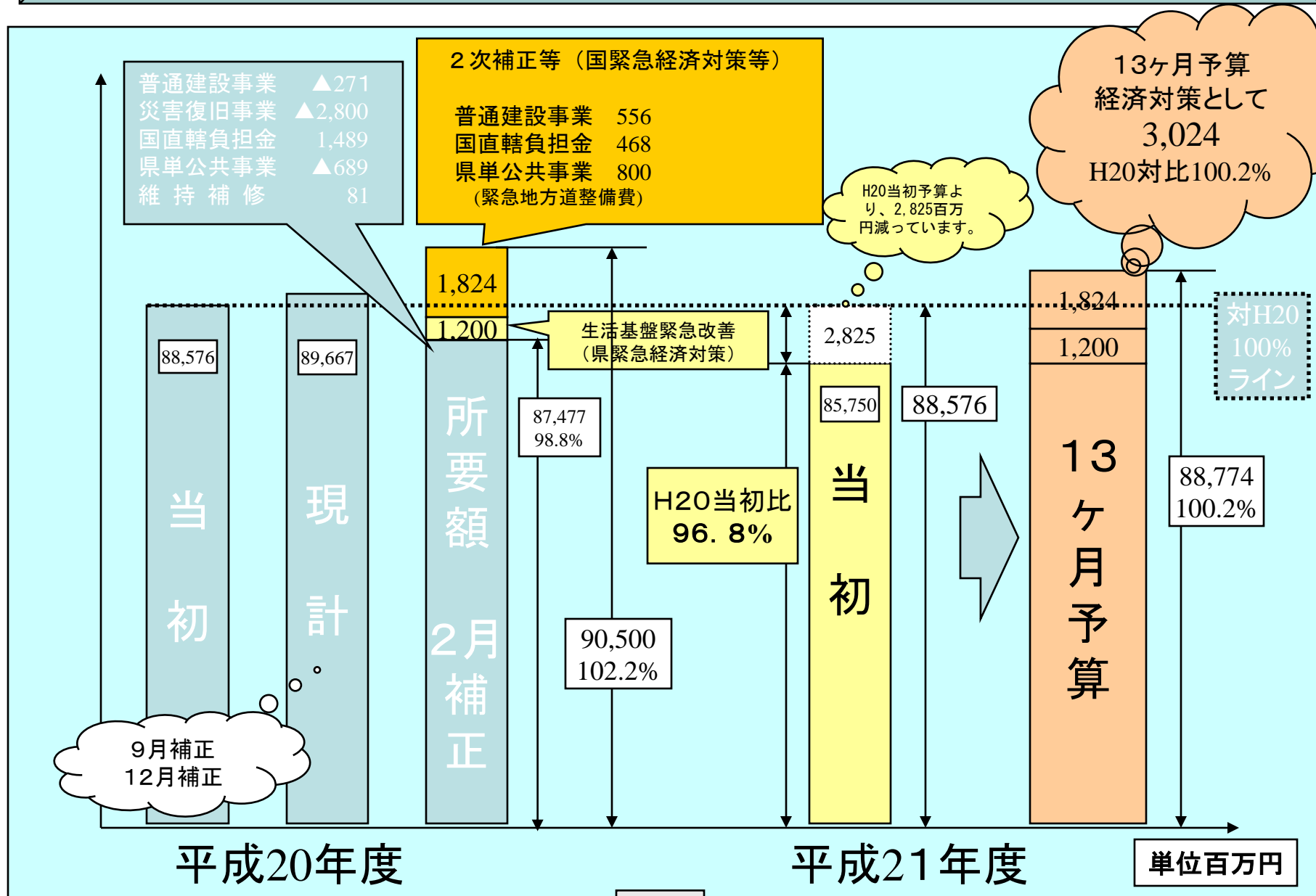
・国の2次補正等	21億2,460万1千円
・県の緊急経済対策	12億円
・計	33億2,460万1千円

平成21年度予算の前倒しによる迅速な対応を図ることにより、河川の出水期前や積雪寒冷地域の降雪期前に工事を完成し、県民に対する安全・安心を早期に確保することができることから、ゼロ国やゼロ県の債務負担行為による早期発注対策を実施します。

・ゼロ国債務負担行為	24箇所	24億 444万円
・ゼロ県債務負担行為	141箇所	13億3,506万円
・計	165箇所	37億3,950万円

平成21年度当初予算編成(公共事業費)の考え方

平成21年2月



資料 2

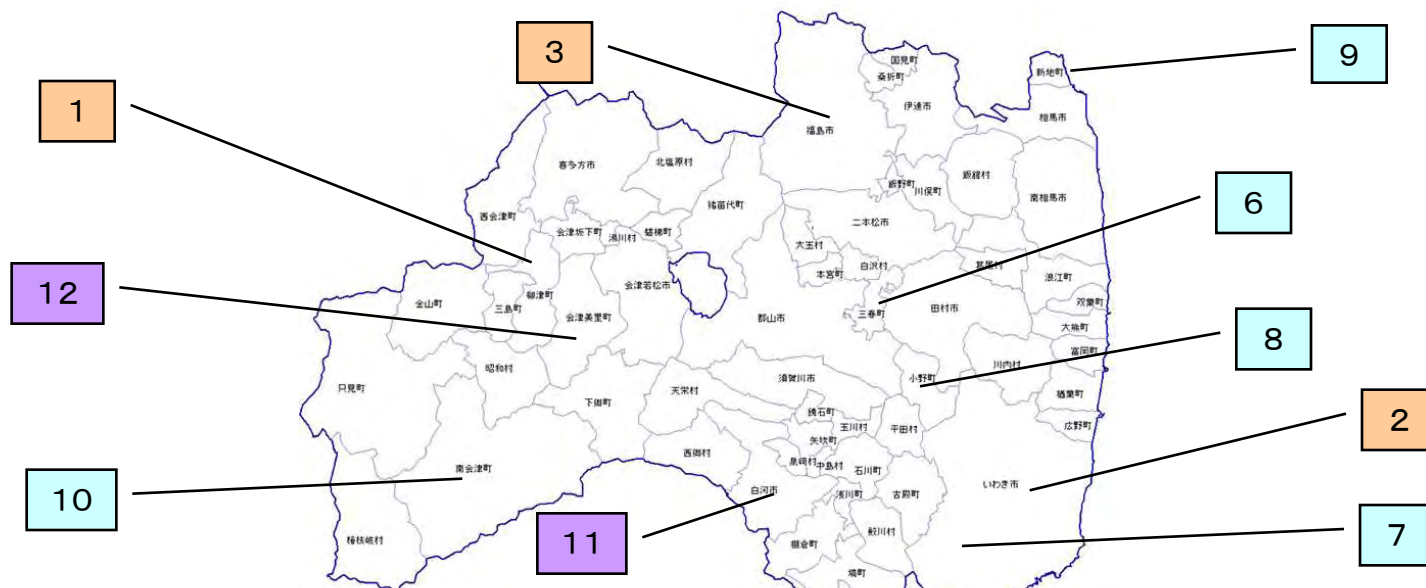
平成20年度2月補正予算による主な実施予定箇所

～2月補正予算により事業を実施した場合の効果を表します～

平成 21 年 2 月 16 日

福島県土木部

平成20年度2月補正予算による主な実施予定箇所



番号	事業名	路線名・河川名等	工区名	所在地	主な工種	ページ
2次補正						
1	緊急地方道整備費	(主)柳津昭和線	琵琶首	柳津町大成沢	改良工	P 1
2	重要幹線街路事業	(都)平磐城線	花畑	いわき市小名浜	改良・舗装工	P 2
3	都市公園整備事業	あづま総合運動公園		福島市荒井	遊戯施設改修	P 3
4	ふくしまの家地域活性化支援事業	全県域				P 4
追加経済対策						
5	生活基盤緊急改善事業	全県域				P 5
ゼロ国債事業						
6	国道改築事業	(国)288号	三春西B P	三春町貝山	改良工	P 6
7	国道改築事業	(国)289号	荷路夫B P	いわき市田人町	改良工	P 7
8	広域基幹河川改修事業	右支夏井川		小野町	橋梁上部工	P 8
9	高潮対策事業	木崎海岸		新地町	人工リーフ	P 9
10	通常砂防事業	ウラノ沢		南会津町	えん堤工	P 1 0
ゼロ県債事業						
11	道路再生事業	(国)289号	中山南	白河市中山南	警報装置、標識設置	P 1 1
12	河川改良事業	氷玉川		会津美里町	掘削工	P 1 2

狭隘区間の解消と冬期交通の安全確保を図ります

県道柳津昭和線「琵琶首工区」(柳津町)＜平成14年度～＞

● 県道柳津昭和線は柳津町を起点とし、昭和村へ至る延長L=28kmの主要幹線道路ですが、柳津町大字大成沢～柳津町大字琵琶首間については、線形が悪く幅員が狭い箇所があり、特に冬期間は円滑な通行の確保が課題となっています。



琵琶首工区

＜すれ違い困難箇所及び雪道の状況＞



至 昭和村



至 柳津町

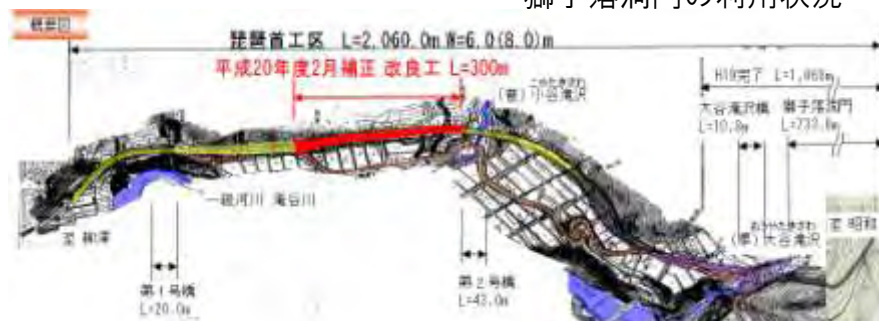
◇琵琶首工区の整備効果◇

- ◎ 線形の改良及び幅員を拡幅することで狭隘区間が解消されます。
- ◎ 道路利用者の冬期間における安全確保が図られます。
- ◎ 橋りょう下部工を早期着手するため、改良工を推進します。



至 昭和村

平成19年度に開通した獅子落洞門の利用状況



緊急地方道整備事業
延長:L=2,060m
総事業費:約27億円

「みなと」と「まち」の連携を強化します！

～都市計画道路 平磐城線「花畑工区」(主要地方道 小名浜平線)～

事業位置図



事業の目的と概要

- 本路線は、物流・観光の拠点である重要港湾小名浜港から、小名浜市街地を經由し、いわき市中心市街地の平地区を結ぶ重要な幹線道路であり、緊急輸送路にも指定されています。本路線の整備では、混雑の著しい2車線道路を4車線に拡幅するとともに、幅広歩道の設置や電線地中化を実施し、ゆとりある道路空間を創出します。また、本路線は、市の「景観形成重点地区」に指定されており、地域住民により沿道景観の向上が図られます。

【全体事業】

- ・ 事業延長 L=876m
 - ・ 期 間 平成16～26年度（目標）
 - 2月補正により、歩道部の改良舗装と無電柱化を推進し、緊急輸送としての機能増進と、歩行者や自転車利用者等の通行の安全を確保します。
- 【平成20年度2月補正予算】
- ・ 事業内容 歩道工事（改良舗装・無電柱化工事）L=80m

2月補正による効果

- 起点からいわき市小名浜支所までの約200m区間について、歩道(片側)の平成21年度の早期供用が図られます。

問い合わせ先: 都市総室 まちづくり推進課 主幹 佐藤
電話 024-521-7867 県庁内線(3652)

老朽化した公園遊具をリニューアル！

都市公園バリアフリー化緊急支援事業(あづま総合運動公園)

あづま総合運動公園



補助事業の拡充について

公園の遊具については、従来、県単独費にて部分的な補修・修繕を実施してきたところです。

国の2次補正により補助事業の制度拡充が図られ、遊具の更新に取り組めることとなったことから、あづま総合運動公園の遊具を重点的にリニューアルするものです。



2月補正による効果

老朽化が甚だしい公園遊具(N=13基)をリニューアルすることで利用者の安全性が向上します。

老朽化した木製遊具の破損状況 (設置後25年経過)

問い合わせ先: 都市総室 まちづくり推進課 主幹 佐藤
電話 024-521-7867 県庁内線(3652)

地域の住宅産業の活性化を図ります

～ふくしまの家地域活性化支援事業～

目的

地元で生産される木材などの地域建材を活用した良質な「ふくしまらしい家づくり」を推進することや、空き家や古民家の改修により二地域居住、UIターン希望者の定住促進を推進することにより、地域の住宅産業の活性化を図ることを目的とする。

事業の概要



イメージ

二本松市

展示住宅の整備による地域の木造住宅の振興

地元で生産される木材などの地域建材を活用し、気候風土等の地域特性に配慮するなど、地域型の展示住宅の整備

県産材を活用したモデル住宅の整備(イメージ)

(長岡市の地域型展示住宅)

生活体験施設の整備等による二地域居住等の促進

空き家や古民家の改修等(※)による二地域居住やUIターン希望者の定住促進のための生活体験用の滞在施設の整備等

※ 新規建設も対象とする

古民家の改修による宿泊体験用のモデル住宅の整備(イメージ)

(飛騨市田舎暮らし体験モデル住宅)



(イメージ)

白河市

相互連携

観光部局・農林部局

より具体的な形での福島を魅力発信

定住・二地域居住の実現

地域産業・地域経済の活性化による元気な地域づくりの実現

- ◎原則として福島県産木材の使用
- ◎福島県産ブランド材「とってお木」の一部使用と普及PR
- ◎ふくしまらしい家づくりの発信
- ◎地域伝統技術の継承と後継者育成

住宅展示の整備と公開による「ふくしま」らしい家づくりの普及拡大

- ◎地域経済の活性化
- ◎地域コミュニティの存続
- ◎環境負荷の低減

◎ふくしまらしさ(魅力)の体験

- ・心の魅力
- ・食の魅力
- ・住まいの魅力

宿泊体験施設によるふくしまの地域魅力体験

事業の効果

- ①地域木造住宅建設促進による地域循環型社会の支援と地域経済活性化
- ②地域の技術力を活かした木造住宅の建設促進(地域伝統技術の継承、後継者育成に貢献)
- ③定住・二地域居住の支援(ふくしまらしさの体験:ふくしまの魅力)

⇒ 地域産業・地域経済の活性化による元気な地域づくりの実現

※この事業は国の「地域住宅モデル普及推進事業」を利用しています

【緊急経済対策】

地域雇用の確保と、県民生活の安全・安心の向上を図ります

生活基盤緊急改善事業の概要： 地域住民からの要望を踏まえ、緊急的な対応を要する道路や河川等の身近な生活基盤の改善や猛烈な豪雨への対策を実施する。

年度予算概要；事業費C=3,485百万円(補正後)
補正額C=1,200百万円

路・河川名；県管理道路・河川 施工箇所；県内全域

猛烈な豪雨等への対策

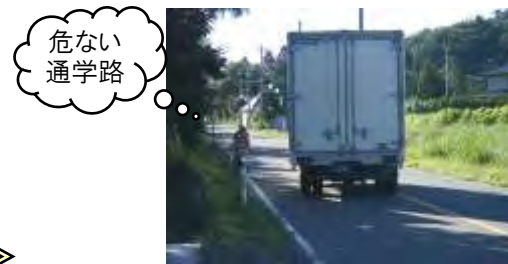


県民生活の
安全・安心

13ヶ月予
算による執
行

の地
域
性
経
済
活
性
化

生活密着型生活基盤の改善



工場操業前に部分供用します

国道288号「三春西バイパス」(郡山市～三春町)＜平成9年度～21年度(部分供用)＞

● 国道288号は郡山市を起点とし、双葉町に至る幹線道路ですが、郡山市西田町大田～三春町貝山間については、市街地の混雑や幅員が狭く大型車すれ違い困難など、沿道環境の悪化や円滑な通行の確保が課題となっています。



● 平成22年春、国道288号沿線の「田村西部工業団地」(田村市船引町・田村郡三春町)に自動車関連工場が操業する予定であり、雇用が創出され、地域経済の活性化が期待される一方で、従業員の通勤による車両や大型車の増加が予想されております。



＜混雑状況＞



＜混雑状況＞

◇三春西バイパス整備効果◇

- ◎ 平成22年春の自動車関連工場操業前に部分供用することにより、移動時間が短縮され、物流コストの縮減など、企業活動を支援します。
- ◎ 通過交通がバイパスへ転換し、市街地の混雑緩和や事故危険性の軽減など沿道環境が改善します。



＜整備状況＞



国道改築事業
延長:L=約3.5km
総事業費:約71億円

平成21年度
部分供用L=1.6km

2月補正予算で事業促進し、平成22年の冬前に供用します

国道289号「^{にちぶ}荷路夫バイパス」(いわき市)＜平成13年度～22年度(供用)＞

● 国道289号は、縦横6本の連携軸における南部軸に位置づけられ、県南部の連携を図るとともに、北関東や北陸地方との広域的な交流を担う重要な路線です。



● ^{にちぶ}荷路夫地内は、幅員が狭く(最小幅員3.5(4.5)m)大型車のすれ違いが困難な状況であり、物流コストの削減など車両の大型化が進められている中、物流拠点間の連絡に支障を来しております。



＜すれ違い困難状況＞

＜縦横6本の連携軸＞

7つの生活圏それぞれを連絡し、生活圏相互の交流・連携を強化するため、縦横6本の連携軸となる幹線道路の整備を進めています。



国道289号「甲子道路」平成20年9月開通

国道289号「荷路夫BP」

◇^{にちぶ}荷路夫バイパス整備効果◇

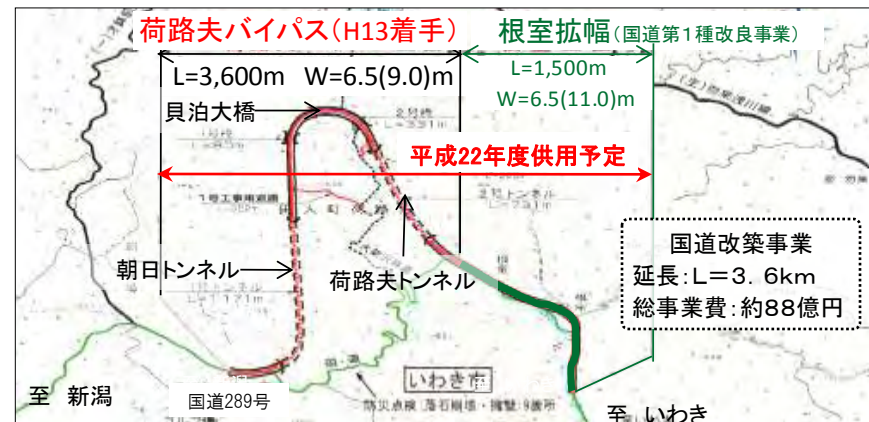
- ◎ 平成22年冬前の供用が可能となり、走行環境が飛躍的に改善されることにより、安全・安心な通行が確保されます。
- ◎ 小名浜港と県南部の物流拠点間の連携が強化されるとともに、円滑な交通による物流効率化が図られます。
- ◎ 県南～いわき地域の交流だけでなく、北関東や北陸地方との広域連携が図られます。



至 いわき

＜整備状況＞

＜貝泊大橋＞



ネック部となっている町道橋の早期完成を図り、浸水被害の防止を図ります

目的

右支夏井川は、断面が狭小で、かつ町道橋、鉄道橋がネックとなっていたため、昭和61年8月の台風10号や平成10年8月の豪雨等により沿川の家屋等への浸水被害が発生している。

このため、ネックとなっている町道橋の改築を早期に完了させ、浸水被害の防止を図ります。

事業概要

事業名 : 広域基幹河川改修事業
(鉄道橋道路橋緊急対策事業)
 施工箇所 : 田村郡小野町谷津作地内
 施工期間 : 平成20年～平成24年
 総事業費 : 2,400百万円
 保全対象 : 人家60戸
 道路((主)小野四倉線、町道)



問合せ先:土木部河川整備課 主幹 大堀 TEL024-521-7644

高潮等の被害から、埴木崎地区(新地町)の安全な暮らしを守ります。 (人家42戸、主要地方道相馬亘理線を保全)

目的

木崎海岸は、昭和33年、60年の台風により、浸水被害や施設被災が発生していることから、高潮から背後の人家や道路等を保全するため、堤防および人工リーフ(※)の整備を進めています。

平成18年10月の低気圧には、高波が堤防を越波し、宅地浸水0.5ha、道路冠水200mの被害が発生していることから、人工リーフの整備を更に促進する必要があります。

(※)人工リーフ: 海岸線とほぼ並行に配置する人工的な暗礁で、波浪時の波高を抑制したり、海浜を安定させるなどの効果があります。

事業概要

事業名 : 高潮対策事業
 施工箇所 : 相馬郡新地町埴木崎地内
 施工期間 : 平成11年～27年
 総事業費 : 2,800百万円
 保全対象 : 人家42戸
 道路((主)相馬亘理線、町道)



出水期前の土砂災害に対応するため、ゼロ国債を活用し、早期にウラノ沢（南会津町系沢地区）の溪流を保全します



・梅雨期や台風期前に想定される土砂災害に備えるため、ゼロ国債を活用し、砂防えん堤より下流の溪流整備を早期に行います。

- ・事業名：通常砂防事業
- ・施工箇所：ウラノ沢（南会津町）
- ・施工期間：平成16～21年
- ・総事業費：420百万円
- ・保全対象：人家9戸、緊急輸送路（国道121号）、会津鉄道



問合せ先：土木部砂防課 主幹 星 TEL024-521-7491

至 鬼怒川

道路冠水事故ゼロ作戦

国道289号「中山南」(白河市)＜平成21年度＞

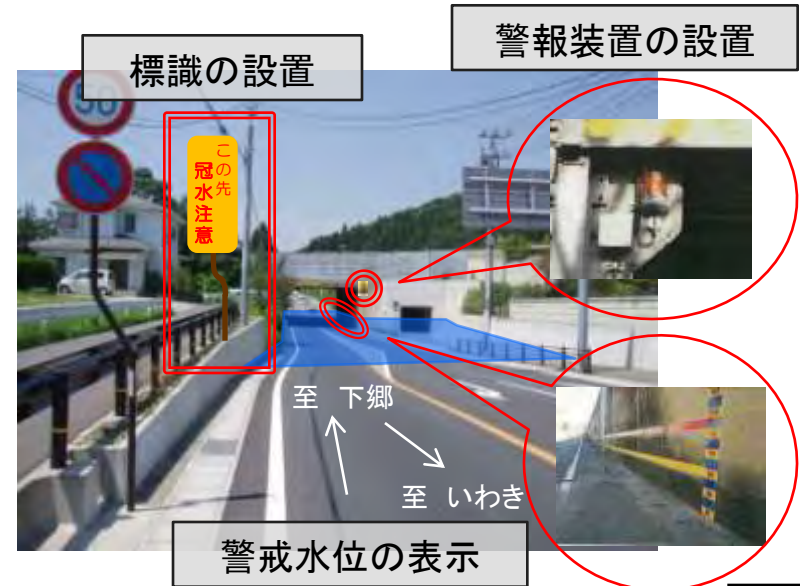
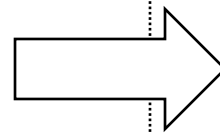
- 本箇所は、東北自動車道の下を通る立体交差施設であり、集中豪雨等の急激な出水により、冠水の危険性が高く、重大な事故につながる恐れがあります。



◇国道289号中山南地内の対策及び効果◇

- ◎ 標識を設置し、道路利用者へ普段から冠水危険箇所の周知を行います。
また、冠水時には、警報装置の設置や警戒水位の表示により、道路利用者へ注意喚起を行います。
上記により、道路利用者の事故を未然に防止し、安全を確保します。

＜冠水時の状況＞



出水期前に掘削工を実施し人家連担区間の安全な暮らしを守ります (人家等149棟を守ります)

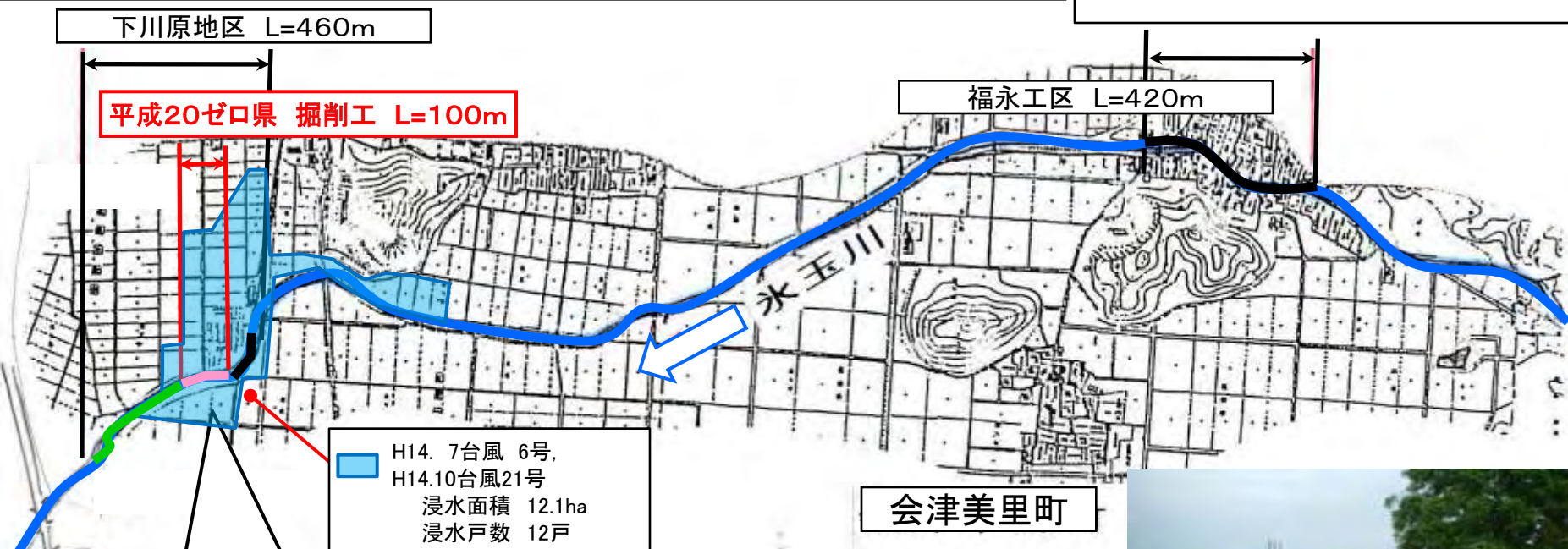
目的

氷玉川は断面が狭小で、平成14年7月の台風6号、10月の台風21号により沿川の家屋等への浸水被害が発生している。

このため、出水期前に人家連担区間の河道掘削を実施し、浸水被害の解消を図ります。

事業概要

事業名 : 河川改良事業
 施工箇所 : 会津美里町下川原地区
 施工期間 : 平成17年～平成23年
 総事業費 : 70百万円
 保全対象 : 人家149棟、耕地600ha



会津美里町

事業効果

豪雨時の浸水被害から、会津美里町下川原地区の安全安心を確保します。

凡例

- H20まで
- H20ゼロ罫
- H21以降



平成14年の台風6号、台風21号により、周辺の人家等への浸水被害が発生しました。